

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 565

事務事業名	水道広報公聴業務	
-------	----------	--

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	上下水道局		
課名	業務課		
課長名	坂上 正信	内線	53-1116
担当者名	岩松 菜月	内線	53-1116

基本目標	050304	機能的で環境と調和したまち
政策		快適で暮らしやすい都市環境の整備
施策		上下水道の整備
関連施策		

会計	水道事業会計		
款	2	水道事業費用	
項	1	営業費用	
目	4	業務及び総係費	
事業コード			

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	上水道利用者		
意図	水道事業の運営等に関する情報をホームページ等様々な媒体を利用し、積極的に情報発信を行うことで、利用者の理解と協力を得られるようにする。 また、同様に利用者の意見を聴き、利用者の立場にたった事業運営をめざす。		
事業概要	「広報おおむら」への掲載。 「水道週間」等に併せたパネル写真展等PRイベントの開催。 上下水道事業パンフレット(「水はみんなの宝物」)の作成・配布。 上下水道局公式ホームページの更新・運営。 公共施設への冷水器の設置。		
事業期間	年度 ~ 平成 年度	実施方法	
根拠法令、要綱等			
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 広報誌掲載頁数	計画値	12	12	12	12	
		実績値	0	2	5		
		達成度	%	0.0%	16.7%	41.7%	
活動指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標	① 坂口浄水場見学者数(小学校の授業分は除く)	計画値	50	50	50	50	
		実績値	53	12	23		
		達成度	%	106.0%	24.0%	46.0%	
	② ホームページのユニークユーザー数	計画値	16,000	16,000	16,000	16,000	
		実績値	18,809	14,776	14,475		
		達成度	%	117.6%	92.4%	90.5%	

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	401	395	354	2,556	2,569	2,569	2,569	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	401	395	354	2,556	2,569	2,569	2,569	
② 人件費(千円)	1,589	1,511	4,232	5,090	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.20	0.20	0.60	0.70	広報誌の発行、ホームページを利用したアンケート調査	広報誌の発行、ホームページを利用したアンケート調査	広報誌の発行、ホームページを利用したアンケート調査	
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	1,990	1,906	4,586	7,646				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	上下水道事業のパンフレット(水はみんなの宝物)について、27年度から改訂作業を進め、平成16年以來の改訂を実施した。約6,000部を作成し、市内小学校の4年生に配布した。 広報紙掲載を4回(12月、6月、7月、8月)、ホームページ更新を2回(4月、7月)行った。 6月1日から7日までの水道週間に併せ、写真パネル展や今年初めての給水車による給水作業実演等のイベントを行った。 安心して飲める水道水のPRのため、市営野球場等の公共施設2箇所に冷水器を2台設置した。
事業が抱える問題・課題等	ホームページ更新時期、更新回数の見直しについては、業者委託のため、経費が必要となる。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	水道管の整備・水道管や水道施設の維持管理の必要性、水道事業内容や経営状況などを公表し水道事業に対する市民の理解を得る必要がある。 水道の加入申込みや中止、水道料金の問い合わせ、漏水事故等の緊急情報などにホームページの活用は不可欠である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	水道事業は、大村市上下水道局で実施しているので市の関与は妥当である。						
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	水道利用の開始・中止の申込みなどサービス面の向上や事業計画、経営状況などの情報提供に関してホームページを利用している。						
有効性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	ホームページを活用した水道利用の開始・中止申込みや閲覧者も増加傾向にあり、昨年に引き続き、今後さらなるホームページの利用が見込まれる。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	水道利用者や水道事業関連事業者に対し、必要最小限の更新回数(年2回)で実施しており、年4回の更新を検討しているため、経費の削減は見込めないが、利用者向けの有料広告を掲載するなど広告料収入が期待できる。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	「広報おおむら」に水道事業をPRする内容について掲載する。 上下水道局公式ホームページの掲載内容、更新の見直し、「水道週間」に併せたイベント等を引き続き行い、水道事業をPRしていく。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	安心安全な水道水の供給が適切に行われていることや水道事業について十分に説明をすることで、水道事業や水道料金に対する利用者の理解を深めることができる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。